

【所属名：教育委員会事務局こども教育課】

【会議名：第2回いじめ防止連絡協議会】

会 議 録

作成日 令和6年12月23日

日	令和6年11月29日	時間	14:00～15:20	場所	糸魚川市役所会議室
件名	報 告 ・ 令和6年度いじめ・不登校の状況（令和6年4月1日～令和6年10月31日） ・ 各団体からの情報提供				
出席者	【委員】7名（下記団体より1名） 糸魚川警察署、新潟地方法務局糸魚川支局、人権擁護委員協議会、糸魚川市 PTA 連絡協議会、主任児童委員、市校長会、市教育研究会生徒指導部 【事務局】5名 靄本教育長、山本教育次長、こども教育課：古川課長、小川参事、山下副参事				
欠席者	【委員】1名 高等学校				
	傍聴者定員	— 人	傍聴者数	1 人	

会議要旨

進行：小川参事

1 開会の挨拶（靄本教育長）

- ・ 各委員にはそれぞれの立場でいじめ防止に向けてご尽力いただき御礼申し上げます。
- ・ 11月に入り、市内小中学校では、音楽発表会や糸魚川ジオパーク学習交流会があり、子どもたちが学んだことを多くの人に伝えたいという気持ちの高まりを感じ、いろいろな場面で発表してくれた姿が印象深く残っている。
- ・ 11月は児童虐待防止強調月間で、啓発活動や研修会等が行われた。いじめ防止に絡めて、虐待に関しては非常に重い大きな課題になっている。いち早く発見し、組織的に解決に向かうという迅速性が問われている。
- ・ 各学校では、インフルエンザ様疾患の流行によって学級閉鎖をしなければいけない実態がある。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ様疾患等の感染防止に向けた取組を地道に継続していきたい。
- ・ 教育委員会では令和5年度に糸魚川市いじめ防止基本方針の改定作業を行った。この協議会の委員の皆様とも何度も意見交換をする機会を設けて、いろいろな角度から改定を進めてきた。身近に理解啓発をするための手段として、ポイントを整理したダイジェスト版を作成した。教職員向け、保護者地域の皆様向け、中学生向け、小学校4年生から6年生向け、小学校1年生から3年生向け、というように、対象者や子どもたちの発達段階に応じて、ダイジェスト版で情報発信してきた。各団体からの情報提供の中に、どのように周知されているのか、どの程度浸透しているのかについて情報提供いただければありがたい。

- ・この会の目的は、いじめの防止等に関する関係機関等における相互の連絡調整と取組状況についての情報交換である。個人情報については、特定できないよう特段の配慮をお願いしたい。

2 報告

(1) 令和6年度いじめ・不登校の状況(10月31日現在)

- ・資料P.2－P.5のとおり

<質疑・意見>

(糸魚川市PTA連絡協議会)

- ・いじめの件数を減らすために、具体的にどのような取組を行っているか。

(事務局)

- ・糸魚川市としての取組は、いじめ防止基本方針の改定に伴って、いじめの定義等を分かりやくまとめたダイジェスト版を中学生用、小学生用、保護者用に分けて作成し、学校を通して配付した。

(糸魚川市PTA連絡協議会)

- ・いじめの定義は昨年度と変わっていないか。

(事務局)

- ・いじめの定義自体は昨年度と変わっておらず、同じ基準になっている。

(事務局)

- ・担当からの話に加えて、Q-Uアンケートを年に2回行っている。Q-Uアンケートは、子どもが学級での所属感や、どのような気持ちの状態であるかが分かるものになっている。その結果を見て、先生方は研修をしたり、この子にはどのような支援が必要かを協議したりしている。
- ・並行して、学校によって方法は異なるが、アプリを使ったアンケート調査や、紙ベースのアンケートを行って、いち早く子どものいじめ等に気付くことができるようにしている。
- ・いじめの数が減っていることは、正直嬉しいことだが、そればかり追い求めると、学校で子どもから訴えがあったのにも関わらず、教育委員会に報告しないというようなことにつながることも考えられるので、教育委員会としては、それよりも大事にしていることは、いじめをいち早く認知して、重大化しないようにすることの方が大事だと考えて、積極的な認知を学校に求めている。

(主任児童委員)

- ・学校を訪問した際、学校に登校できない子がいた場合、昔は迎えに行っていたが、途中で事故がある等、責任が取れないから、今はできないと管理職から言われた。
- ・運動会で学校に登校できなかった子がやっと参加したが、転んでしまって次の日からまた学校を休んでしまった。とても残念で、何か配慮ができなかったかと思う。先生方には何とかしてあげたいという熱意を大切にしてもらいたい。

(事務局)

- ・その子の気持ちや保護者の気持ちに寄り添って、一人ひとりに応じて対応をするよう、教育委員会から学校に話をしていく。

(2) 各団体からの情報提供(非公開)

3 閉会の挨拶（山本教育次長）

- ・皆様それぞれの立場でいろいろな取組をされていると報告いただいた。情報共有を図りながら連携をする中で、いじめの防止に努めていくことが大事であると感じた。
- ・不登校についても、早いうちに何らかの手を差し伸べることが大事であると思っている。
- ・この連絡協議会だけでなく、様々なところで連絡を取らせていただきながら、いじめ防止等につなげていきたいと思うので、ご協力をお願いしたい。